

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間

2023年4月 ～ 2024年 3月



写真:「無限門」(BenesseArt)
基礎工事・植栽工事当社請負

株式会社 多 丸 組

発行日:2024年6月30日



目 次

I. 組織概要	1
II. 環境経営方針	2
III. 環境経営目標	3
IV. 環境経営計画	4
V. 実施体制	5
VI. 環境経営目標の実績・評価	6
VII. 次年度の環境経営計画	7
VIII. 環境関連法規制等の順守状況	9
IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示	10

発 行 日 : 2024年6月30日

発 行 責 任 者 : 環境管理責任者 多丸 華加

次回発行予定日:2025年6月頃

【I.組織概要】

(1)事業所名及び代表者氏名 株式会社 多丸組
代表取締役 多丸 華加

(2)所在地
本社(倉庫、資材置き場) 香川県香川郡直島町1682-1
工場(工場資材置き場) 香川県香川郡直島町4101

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 多丸 華加
電話番号 087-892-3076

(4)事業内容
土木工事業、生コンプラント業

香川県知事許可(特-3)第180号(令和3年5月20日)
土木工事業、石工事業、舗装工事業、水道施設工事業
とび、土工工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業
解体工事業

香川県知事許可(般-3)第180号(令和3年5月20日)
造園工事業

(5)事業の規模 令和6年 4月 1日 現在

資本金	2,000 万円
完成工事高	29,683 万円
工事等の件数	7 件
従業員	9 人
事務所床面積	313.5 m ²
倉庫床面積	146.52 m ²
資機材置場面積	310 m ²
工場事務所床面積	39.83 m ²
工場資材置場面積	1000 m ²

(6)事業年度
7月～6月

(7)認証登録対象範囲

本社(全組織、全活動)
工場(全組織、全活動)

Ⅱ.環 境 経 営 方 針

[基本理念]

地球を大きな一つの命ととらえ、自然と人間との共生をテーマとして、環境保全の大切さを学び、環境経営システムを構築しつつ地域住民との交流を大切にし地域貢献に励み、地域密着型企业として社員一丸となって努力します。

[活動指針]

1. 環境保全活動を推進するために次の事に取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量の削減。
- ②一般廃棄物、産業廃棄物の削減及びリサイクルの推進。
- ③水使用量の削減。
- ④常に環境保護を意識しながら工事を施工する。
- ⑤商品の生産において環境に優しい資材を積極的に使用する。
- ⑥環境マネジメントを継続的に行うために社員に環境教育を行う。
- ⑦環境経営の継続的改善を実施する。

2. 環境関連の法規制等を遵守し、汚染防止に努めます。

環境経営方針は全ての従業員へ周知するとともに、定期的に環境経営システムの取組状況を評価し、環境経営レポートにて広く一般にも公開します。

制定 : 平成25年6月25日
改定 : 令和 2年4月 1日

株式会社多丸組

代表取締役 多丸 華加

Ⅲ.環境経営目標

【3年間の目標値】

目 的	単位	目 標			
		基準年 (2021年)	2022年 (2022年4月～2023年3月)	2023年 (2023年4月～2024年3月)	2024年 (2024年4月～2025年3月)
二酸化炭素の排出量 * 1	kg-CO ₂	118,209	117,027	115,857	114,698
電力	kWh	43,603	43,167	42,735	42,308
ガソリン	ℓ	7,017	6,947	6,878	6,809
軽油	ℓ	29,873	29,574	29,278	28,985
一般廃棄物排出量	kg	89	88.1	87.2	86.3
産業廃棄物排出量	t	555.5	549.9	544.4	539.0
水使用量	m ³	1,080	1,069	1,058	1,047
組織本来の取組 * 2	%	100	100	100	100

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、
中国電力の調整後排出係数0.585 (kg-CO₂ /kWh)を使用した。
(中国電力2021年度発表に基づく)

* 2. 建設現場における環境に配慮した施工重点3項目の実施。

- 1.荷こぼれの対策
- 2.飛び石の対策
- 3.通行者への対策

生コン工場における環境に配慮した管理重点3項目の実施

- 1.シュートの取り付けの徹底
- 2.総排水量の削減
- 3.残コンの適正処理

* 3. 化学物質の使用はありません。

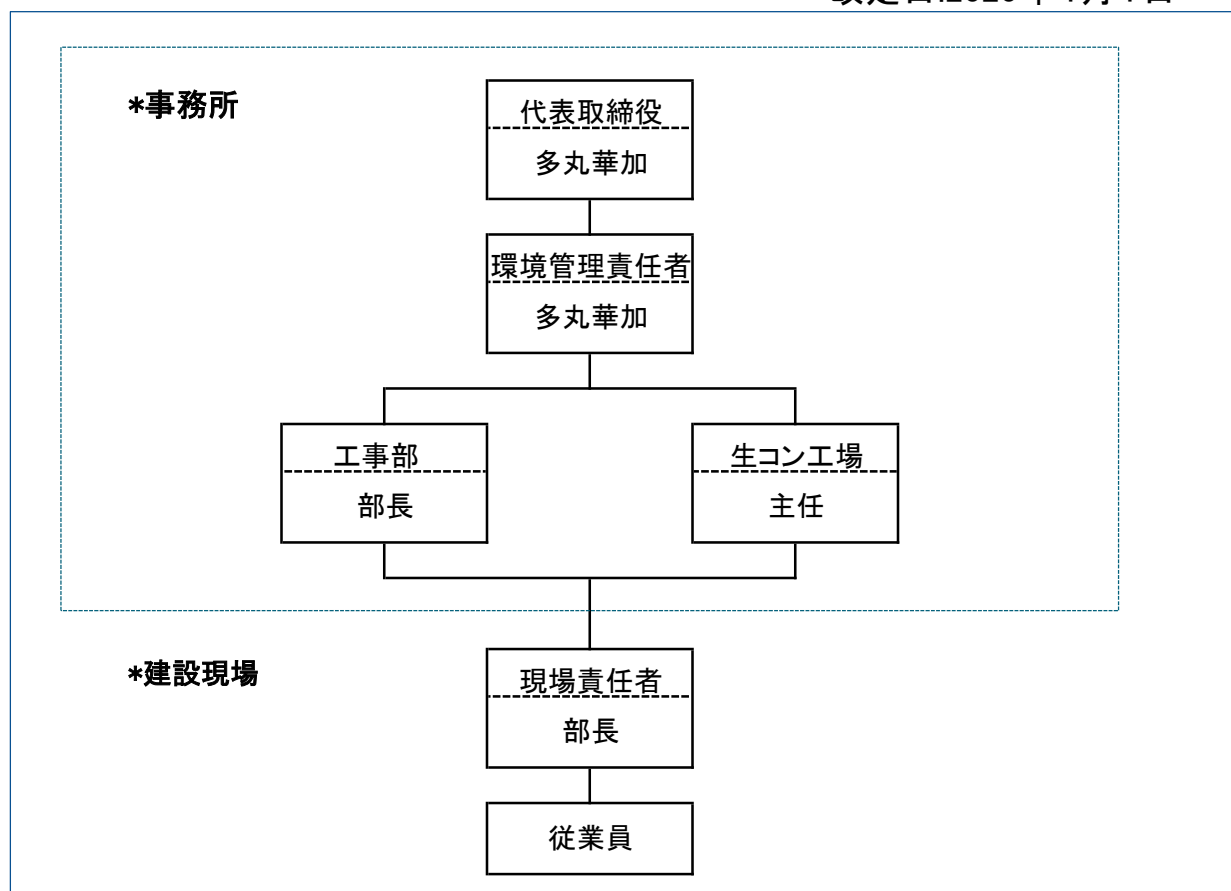
【Ⅳ.環境経営計画】

○取組期間 2023年 4月 ～ 2024年 3月

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要な照明を消す ②帰りの電源オフの確認 ③適切な空調温度の設定確認	社長
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③車内温度を27度以下に下げない	部長
	軽油使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの研修実施 ③定期的な保守点検の実施	部長
廃棄物	一般廃棄物の削減	①印刷済のコピー用紙の裏の利用 ②プラントでの新聞紙の利用 ③分別の徹底	社長
	産業廃棄物の削減	①マニフェストの徹底管理 ②分別の徹底 ③まだ使えるものは再利用する	部長
水使用量	節水	①節水シールの貼付とポスター掲示 ②量水器の水量調整バルブを8割程度に調整する ③ホースにレバーノズルを取り付ける	部長
建設現場	環境に配慮した施工	①荷こぼれの対策 ②飛び石の対策 ③通行者への対策	部長
生コン工場	環境に配慮した管理	①シュートの取り付けの徹底 ②総排水量の削減 ③残コンの適正処理	部長

【V.実施体制組織図】

改定日:2020年4月1日



		役割・責任・権限
代表取締役		- 環境管理責任者を任命 - 環境経営目標、環境活動計画書を承認 - 環境経営レポートを確認し、承認 - 自部門の特定された緊急事態への対応マニュアルの承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境関連法規等取りまとめ表の承認 - 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間を準備
環境管理責任者		- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 - 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境経営目標、環境活動計画書を作成 - 環境活動の取り組み結果を代表者に報告 - 環境経営レポートの作成 - 環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	工事部	- 全従業員に対する教育・訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

【VI.環境経営目標の実績結果と評価】

○取組期間 2023年 4月 ～ 2024年 3月

事務所・生コン工場・現場

目的	単位	基準年 (2021年)	目標	実績	達成率(%)	評価
二酸化炭素の排出量 * 1	kg-CO ₂	118,209	115,857	139,039	83	×
電力	kWh	43,603	42,735	52,259	82	×
ガソリン	ℓ	7,017	6,878	6,572	105	○
軽油	ℓ	29,873	29,278	35,758	82	×
一般廃棄物排出量	kg	89	87.2	87	100	○
産業廃棄物排出量	t	555.5	544.4	240.5	226	○
水使用量	m3	1,080	1,058	2,647	40	×
組織本来の取組 * 2	%	100	100	100	100	○

(○:達成 ×:未達成)

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、
中国電力の調整後排出係数0.585 (kg-CO₂ /kWh) を使用した。
(中国電力2021年度発表に基づく)

* 2. 建設現場における環境に配慮した施工重点3項目の実施。

- 1.荷こぼれの対策
- 2.飛び石の対策
- 3.通行者への対策

生コン工場における環境に配慮した管理重点3項目の実施

- 1.シュートの取り付けの徹底
- 2.総排水量の削減
- 3.残コンの適正処理

* 3. 化学物質の使用はありません。

○評価コメント

<二酸化炭素の削減>

二酸化炭素の排出量は、目標を達成できなかった。生コン工場での生コン出荷数量が前年度の2.6倍となっており、それに伴い電力、化石燃料の使用量も増加した。事務所内での電力使用量は節電の取り組みにより削減できた。

<廃棄物排出量の削減>

一般廃棄物の排出量は、目標は達成できた。引き続き一般廃棄物の削減に取り組んでいく。

産業廃棄物の排出量も目標を達成できた。工事現場において産業廃棄物排出量が減少した為と考えられる。また、分別の徹底によりほぼすべてが再資源化されている。

<水使用量の削減>

水使用量は目標を下回った。生コン工場での生コンの出荷数が大幅に増加した為、水の使用量も増加した。引き続き再生水の利用を促進し、水の使用量の削減に取り組んでいく。

<組織本来の取組>

今年度、建設現場及び生コン工場の重点3項目は実施できた。
次年度もこの調子で取り組んでいきたい。

【Ⅶ.環境経営計画と評価及び次年度の取組内容】

○取組期間 2023年 4月 ～ 2024年 3月

		具体的実施項目	実施責任者	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要な照明を消す ②帰りの電源オフの確認 ③適切な空調温度の設定確認	社長	○ ○ ○	△ ○ △	○ ○ ○	○ ○ ○
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③車内温度を27度以下に下げない	部長	○ ○ ○	○ ○ △	○ ○ ○	○ ○ ○
	軽油使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの研修実施 ③定期的な保守点検の実施	部長	○ ○ ○	△ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
廃棄物	一般廃棄物の削減	①印刷済のコピー用紙の裏面利用 ②プラントでの新聞紙の再利用 ③分別の徹底	社長	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	産業廃棄物の削減	①マニフェストの徹底管理 ②分別の徹底 ③使えるものは再利用する	部長	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
水使用量	節水	①節水シールの貼付とポスター掲示 ②量水器の水量調整バルブを8割程度に調整 ③ホースにレバーノズルを取り付ける	部長	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
建設現場	環境に配慮した施工	①荷こぼれの対策 ②飛び石の対策 ③通行者への対策	部長	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
生コン工場	環境に配慮した管理	①シュートの取り付けの徹底 ②総排水量の削減 ③残コンの適正処理	部長	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組
二酸化炭素	不要な照明を消灯する取り組み意識は高まっているがトイレなどの照明の消し忘れが見られた。燃料削減に対する意識は従業員全員に浸透しており燃料の消費は削減出来ている。	不在時の消灯を引き続き徹底して実施する。 燃料使用量の削減は社員に浸透しているので引き続きエコドライブなどの取り組みを徹底していく。
廃棄物	一般廃棄物の削減はよくできた。産業廃棄物の削減や分別の取り組みについても徹底して取り組めた。	一般廃棄物、産業廃棄物の削減について引き続き施策を実施していく。 引き続きマニフェストの管理や分別を徹底していく。
水使用量	節水に対する取り組みはよくできた。生コン工場においては積極的に再生水の利用ができた。	節水を心掛け引き続き取り組みを継続していく。
建設現場	環境に配慮した施工項目は行動が習慣化しているため、実施できた。	環境に配慮した施工の取り組みは次年度も引き続き実施する。
生コン工場	取り組みに対して従業員の意識が浸透しており今後も引き続き継続していく。	次年度も環境に配慮した取り組みは継続して取り組んでいく。

【次年度の環境経営計画】

○取組期間 2024年 4月 ～ 2025年 3月

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要な照明を消す ②帰りの電源オフの確認 ③適切な空調温度の設定確認	社長
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③車内温度を27度以下に下げない	部長
	軽油使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの研修実施 ③定期的な保守点検の実施	部長
廃棄物	一般廃棄物の削減	①印刷済のコピー用紙の裏の利用 ②プラントでの新聞紙の利用 ③分別の徹底	社長
	産業廃棄物の削減	①マニフェストの徹底管理 ②分別の徹底 ③まだ使えるものは再利用する	部長
水使用量	節水	①節水シールの貼付とポスター掲示 ②量水器の水量調整バルブを8割程度に調整する ③ホースにレバーノズルを取り付ける	部長
建設現場	環境に配慮した施工	①荷こぼれの対策 ②飛び石の対策 ③通行者への対策	部長
生コン工場	環境に配慮した管理	①シュートの取り付けの徹底 ②総排水量の削減 ③残コンの適正処理	部長

【Ⅷ.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価】

○環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規等は以下に示す通りである。

法規、法令の名称	適用内容及び遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託先の許可確認	遵守
	委託契約の締結、契約書の5年間保存	遵守
	マニフェストの発行、管理	遵守
容器包装リサイクル法	市町村が定めた分別基準により分別排出	遵守
リサイクル法	指定副産物の再利用、再資源化等	遵守
指定副産物利用促進省令	再資源利用計画書、実施書の作成	遵守
騒音規制法	特定建設作業(削岩機等使用)の届出	遵守
振動規制法	特定建設作業(ブレーカー、舗装破碎機等使用)の届出	遵守
大気汚染防止法	解体、改修工事に伴う特定粉塵等排出作業の届出	遵守
香川県環境基本条例	事業活動	遵守
直島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例	事業活動	遵守
フロン排出抑制法	建設機械簡易点検・記録及び保管	遵守

○違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の違反は過去3月年間ありませんでした。

関係機関からの苦情・訴訟はありませんでした。

【Ⅸ.代表者による全体の評価と見直し・指示】

○取組内容

二酸化炭素削減	(電気使用量) 電気使用量は生コン出荷量が前年度の2.6倍となり、それに伴い消費電力電力も増加した。 (ガソリン、軽油使用量) 燃料使用量も生コン出荷量の増加に伴い増加した。
廃棄物	(一般廃棄物) 工事の増加に伴い一般廃棄物のは多くだが事務所内での削減に努め、全体としては削減することができた。 (産業廃棄物) 産業廃棄物発生量については産業廃棄物が発生する工事の減少ため減少した。分別、処分、マニフェスト管理は徹底して行うことができた。
水使用量	(節水) 積極的に再生水を利用したが、生コンの生産量が大幅に増加した為、水の使用量も増加し、目標を達成できなかった。
建設現場における重点3項目の取組	(環境に配慮した施工) ①荷こぼれ対策は、過積載注意とシート使用により、完全に実施できた。 ②飛び石の対策は、危険個所のバリケード、道路の清掃の実施により対処できた。 ③通行人への対策は、通路にバリケード、交通誘導員の配置により、安全確保ができた。
生コン工場における重点3項目の取組	(環境に配慮した管理) ①シュートの取付の徹底については教育により徹底して実施できた。 ②総排水量の削減については積極的に再生水を利用することができ削減につながった。 ③残コンの適正処理については自社工事においては極力残コンがでないように徹底し、残コンが出た場合はコンクリートブロックを作成し再利用できた。

○代表者による見直し・指示

2024年 4月 1日 代表取締役 多丸 華加

見直しの有無・指示事項	
環境経営方針	見直しの必要性 ☐ 有 ☒ 無
環境経営目標	見直しの必要性 ☐ 有 ☒ 無
環境経営計画	見直しの必要性 ☐ 有 ☒ 無
実施体制	見直しの必要性 ☐ 有 ☒ 無
総括	ガソリン使用量及び産業廃棄物・一般廃棄物発生量については目標を達成することができた。生コン工場において生コン出荷量が前年度の2.6倍となり、生コン出荷に関わる電力使用量・軽油使用量・水使用量については目標を達成できなかった。しかし再生水の利用は積極的にできたので目標は達成できなかったが水使用量を抑えることができた。引き続き再生水の利用及び節水に取組んでいく。 その他の項目においては目標を達成することができ、環境活動への取組がしっかりとできた。また環境に配慮した施工についても徹底して実施することができた。今後も環境負荷を低減し、環境保全に会社全体で取り組んでいく。